

Introduction to Architecture and Environmental Science Course

生活環境学部 住環境学科
大学院 人間文化総合科学研究科 住環境学専攻

住環境学へ
ようこそ!



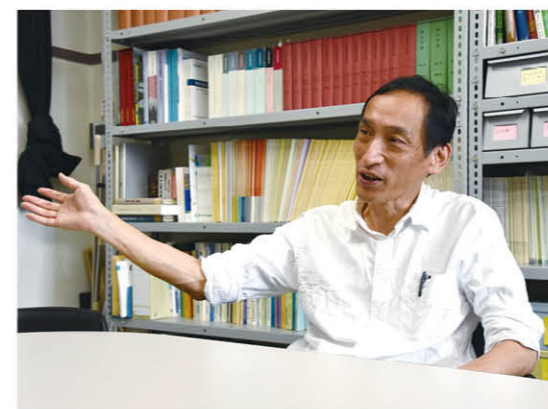
生活環境学部
住環境学科
教授

中山 徹
なかやま とおる

Q 住環境学科専攻のカリキュラムについて教えてください
基本的には一級建築士の資格取得を念頭に置いたカリキュラムを組んでおり、そのようなカリキュラムに則って学部の授業や大学院の授業を行っています。したがって、学部を卒業すると、一級建築士、二級建築士の受験資格を得ることができます。二級建築士は、合格すれば登録でき、一級建築士は実務経験2年を経れば、登録できます。住環境学は、建物の設計やデザインについて考える計画系と、構造計算や空調、照明について考える実験系に二分できます。上級生になると、計画系の研究室に所属している学生には計画系のカリキュラムを、実験系の研究室に所属している学生には実験系のカリキュラムを選択していただきます。

Q 住環境学科・専攻の特徴は何だと思われるますか
多くの大学や大学院では、理系の工学部建築学科や工学研究科建築学専攻において建築を学びます。奈良女子大学では、文理融合型である生活環境学部の住環境学科及び大学院の住環境学専攻において建築を学ぶことができるため、文系の学生も理系の学生も建築を学ぶことができます。建築学への関心が広いことが、大きな特徴の一つとして挙げられます。

また、学部では、一般的な工学部建築学科と同様に建物について考えながら、一方で、生活環境学部の学部共通科目として、建築の背景にある、その住宅の中で家族がどう暮らすのか、どのような食生活、衣生活が人々にとって望ましいのか、といった人々の生活について



いても考えることができます。食物系の概論や衣環境系の概論といった授業がその例です。したがって、住環境学科には、生活に関連する素養を身につけた上で、建物について勉強できるという特徴もあります。
加えて、奈良女子大学は「フィールドに出る」ということを重視しています。研究室や図書館、教室での学びももちろん大切ですが、できるだけ地域に出て、実際の暮らしに触れながら学びを深めています。生活環境学をキーワードとした学びを得ることができるのも、奈良女子大学ならではの特徴です。実際に、私が担当している学部の授業では、近くの商店街へ行き、商店街の人々と一緒に商店街活性化を目的としたイベントを考えることで、まちづくりを学ぶことができます。大学院で私が担当している授業では、台湾と日本の学生が国を行き来し、

台湾の地域調査を台湾の学生と共同で行っています。大学院では、国内にとどまらず海外の地域に足を運んで地域の人々の暮らしや仕事を学んでいます。

画の研究室に属しており、都市や農村、まち、地域の計画を行っています。奈良県吉野郡東吉野村や野迫川村、奈良市のまちづくりや地域の活性化について研究しており、大学の近くの餅飯殿(もちいどの)では商店街の方と協力し、商店街活性化事業に取り組んでいます。また、奈良県のみにとどまらず、海外の大学と共同で海外のまちづくりの研究にも取り組んでいます。

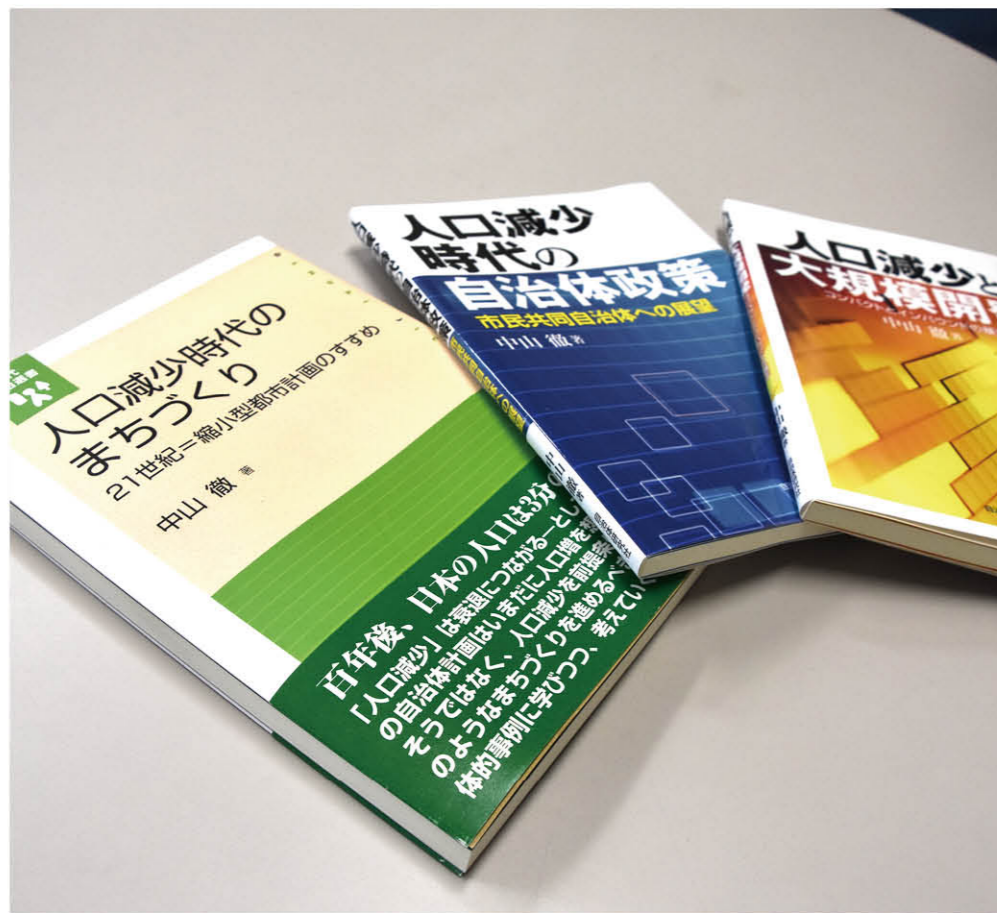
Q 先生の具体的な研究例についていくつかお聞かせください
私は計画系の中でも都市計画や農村計

画の研究室に属しており、都市や農村、まち、地域の計画を行っています。奈良県吉野郡東吉野村や野迫川村、奈良市のまちづくりや地域の活性化について研究しており、大学の近くの餅飯殿(もちいどの)では商店街の方と協力し、商店街活性化事業に取り組んでいます。また、奈良県のみにとどまらず、海外の大学と共同で海外のまちづくりの研究にも取り組んでいます。

Q 住環境学科・専攻への進学を目指す学生へメッセージをお願いします
建築は幅の広い学問です。例えば、計画系の中でも、私のようにまちづくりに取り組んでいる者は、数学や歴史の分野よりも経済や政治の分野とのつながりを強く感じる人が多いです。個々の建物の設計について一日中考えておられる先生もいれば、中世や近世の頃の建物について研究しておられる先生もいます。また、「設計」と一口に言っても、造園の設計を行う人は鉄やコンクリートだけでなく生きた草木などを扱うことにもなります。

さらに、実験系では微分方程式などを用いて構造計算をされている先生もいます。このように、建築や住環境の学問はいろんな分野にまたがっているため、さまざまなおもしろい、関心を持っている方が進学できると考えています。卒業後は、ハウスメーカーやゼネコンなどの建設業に進む学生もいれば、設計事務所や設計を行う学生もいます。他にも、公務員など、いろいろな分野への就職が可能なので、住環境学科・専攻は、スペシャリストを目指す学生にも、シネナリストを目指す学生にも向いている、関口の広い専攻である

と言えるでしょう。
特に奈良女子大学の住環境学科・専攻には、「工学的な素養だけでなく、生活に関連する素養をも身につけた上で、建物について勉強できる」という特徴がありますので、人々の生活について考えながら建物について考えたいという方は、選択肢の一つとして進学を考えてみてください。



さらに、実験系では微分方程式などを用いて構造計算をされている先生もいます。このように、建築や住環境の学問はいろんな分野にまたがっているため、さまざまなおもしろい、関心を持っている方が進学できると考えています。卒業後は、ハウスメーカーやゼネコンなどの建設業に進む学生もいれば、設計事務所や設計を行う学生もいます。他にも、公務員など、いろいろな分野への就職が可能なので、住環境学科・専攻は、スペシャリストを目指す学生にも、シネナリストを目指す学生にも向いている、関口の広い専攻である

学生記者の声



中山先生のお話をお伺いする中で、いろいろな分野を「かけ算」してみることで新たな可能性を創造する奈良女子大学に改めて魅了されました。同時に、私自身も身の周りに「かけ算」できるものがないか探してみようと思いました。初めての取材はとてもワクワクする体験だったので、奈良女子大学への進学をお考えのみなさんにも、入学後にぜひ体験してみたいな、と思います。

鈴木 美優(すずき みゆ)
理学部数物科学科1回生
出身校:帝塚山高等学校(奈良県)